

ニューフェイス紹介

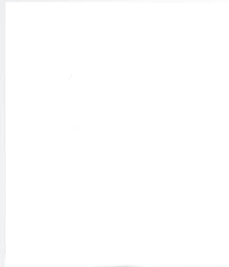


副所長
内田 茂樹

昨年12月耐火物メーカーより出向し、この4月より岡山セラミックス技術振興財団の職員として勤めることになりました。

当財団は日本で唯一の耐火物に関する「研究開発・受託研究・測定分析・人材育成・普及啓発など」の業務を担う公的機関として、耐火物に係る諸産業の活性化を図るために設立されたものですが、正直なところ私自身は、当財団との接点は今まであまりなく、繋がりほとんど感じられませんでした。しかし、出向して数か月、財団に相談・各種依頼を持ち込まれる企業の多いこと、しかも耐火物メーカー以外の企業が多いことに驚いています。耐火物販売量はその4分の3は製鉄関連が占めているせいも、耐火物メーカーの目は製鉄関連に向きがちですが、当財団ではむしろ製鉄関連以外の企業からの相談・依頼が多い状況にあります。

このような状況を踏まえ、製鉄等の分野に限らず耐火物全般に視野を広げるようにしたいと思っています。また、高温で使用される耐火物は、材料技術だけでなくその使用技術も重要であり、ある種の専門的知識と経験を必要としています。私自身の経験と知識を役立てられるように努めたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



研究員
井上 博靖

平成31年2月より当財団の職員としてお世話になっております。これまで2年ほど連铸用耐火物の研究開発に携わって参りました。別のメーカーでも開発の経験がありますが、当財団での業務はこれまでの業務より基礎的かつ広範囲で、四苦八苦しながらも耐火物の奥深さ・面白さを感じる日々です。不慣れなこと

も多くご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、深い専門知識を持たれた皆様のご指導を仰ぎながら、精進して参りたいと思います。何卒宜しくお願い致します。



研究員
小久保幸菜

平成31年4月より、当財団の研究員として採用されました。私は平成31年3月に岡山大学大学院を臨床漢方の専門で卒業したため、全く分野が違う職種での採用となりました。

まだまだ、研究員としても社会人としても未熟ではありますが、一日もはやく仕事を覚え、貢献していくことのできるように頑張ります。

皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



技師
石野 竜也

平成31年4月から当財団に技師として採用されました。私は平成31年3月に備前緑陽高等学校を卒業して社会人になったばかりです。学生時代とは違うことばかりですが少しでも早く仕事を覚えられるように頑張ろうと思います。

まだ知らないことやわからないことが多々あり不安もあ

りますが、先輩方に教えていただきながら一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。



主事
真田 意索

平成31年4月より当財団の事務局でお世話になることとなりました。大学卒業後、地元岡山の発展に寄与したいとの思いから、岡山を拠点とする金融機関で働き、本部で事務に取り組みました。当財団は岡山県内の耐火物企業の発展に貢献することを目的として設立されました。一方、日本で唯一の耐火物に関する公的研究機関でもありますので、県内に限らず、日本全体の耐火物産業に貢献する使命を感じております。私の尊敬する方の言葉に「自ら考え、自ら実行する」とあります。甚だ微力ではありますが、そうした姿勢で常に気概を持ち、積極的に動き、尽力していく所存ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。